

【I】学習拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館事業の充実（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育など、各年代のライフスタイルに沿った講座を実施します。	家庭教育の向上に資する講座等を実施しているか。	昨年度から引き続き親子体験講座のほかに座学中心の親対象講座を新たに開講し、2講座を実施した。 受講者数：延べ57人	少人数であったが、子育て中の保護者に受講してもらえ、有意義な講座が実施できたことは今後の弾みになる。体験型（お楽しみ型）だけでなく、引き続き座学を中心にした講座を展開していきたい。	
	青少年教育に関する講座等を実施しているか。	4講座を実施した。3講座は例年人気の英語、化学、自然体験であるが、新規講座としてプログラミングを学ぶ講座を取り入れた。 受講者数：延べ294人	プログラミング講座は初めての企画であったが、受講希望者は定員を超えてきて、関心の高さが見て取れた。受講ニーズのある講座として、今後もよく検討していきたい。	
	成人教育に関する講座等を実施しているか。	セカンドステージ支援講座3、まちづくり入門講座1、成人講座6の計10講座を実施した。セカンドステージ支援やまちづくりの講座は、受講者数が伸びなかった。 受講者数：延べ730人 内訳 セカンドステージ支援 延213人 まちづくり入門 延31人 成人講座 延486人	趣味の講座や外部で見聞を広めるような講座は人気が高い。セカンドステージ支援やまちづくりの講座は、市民のスキルアップや社会貢献が期待されるため、受講者数が少なくても実施しているが、多くの受講者が集まるよう工夫していきたい。	
	高齢者教育に関する講座を実施しているか。	1講座「ゆうがお大学」を実施した。全8回それぞれにテーマが異なり、多彩な学びが繰り広げられた。 受講者数：延べ337人	リピーター率の高い講座であるが、新規の受講者を呼び込むような企画を心がけた。また、マンネリ化することなく、常に新しいテーマを模索していきたい。	
	趣味・教養に関する講座等を実施しているか。	主に成人講座で実施している。デジタル一眼レフや健康マージャン、歴史、民話、ウォーキングなどの講座を実施した。 1講座は、修了後、自主サークルを立ち上げた（健康マージャン）。	いろいろなテーマ・題材を検討し、講座を企画している。受講生のニーズに合った講座を実施できるよう、更なる検討を重ねていきたい。	
	イ 地域の活性化を図り地域の輪を広げるため、まちづくりの担い手や様々なボランティアの養成を目的とした講座を実施します。	地域づくりのための課題を把握し、講座等に活かしているか。	「男の地域デビュー講座」において、地域での楽しみ・課題解決・新しい仲間づくりをテーマに、新たな生きがいづくりの講座を実施した。	講座修了後、またみんなで会いたいという声上がり、再会講座として近況を語り合う回を実施した。独自の活動が発展するよう、助言や支援をしていきたい。

	ボランティア養成に関する講座等の実施。また、ボランティア活動の場として提供しているか。	まちづくり入門講座として、市内の各方面で活躍している人の話を聞き、ボランティアについて学ぶ講座を実施した。 また、夏休み期間中に社会教育関係団体「しもつけ親&子支援 わくわく広場」にロビーを提供し、子供たちの夏休みの宿題などを見てあげる活動「夏休み学習サポート」を実施した。	受講希望者が少なく、追加募集や1コマでの受講可とするなどの工夫をした。興味関心を持ってもらえるような内容にしたい。 また、夏休み学習サポートは初めての試みであったが、小学生を中心に10~15人の子供たちが一緒に勉強し、手ごたえを感じた。週1回のペースで全5回実施したが、ニーズが増えるようならば、回数を増やしたい。	
ウ 市民の学習ニーズの把握に努め、魅力的で参加しやすい講座を実施します。	市民の学習ニーズを把握するため、意見箱（窓口対応を含む）等を設置し、講座の企画に生かしているか。	意見箱をロビーに設置した。意見の投函は今のところないが、窓口や講座前後の市民との会話から、意見を伺っている	講座開設につながるような意見は特にないが、アンテナを高くし、いろいろな場面で意見徴収を図りたい。	
	一時保育を行っている講座を実施しているか。	託児付きの講座を2講座実施した。 （ウォーキングレッスン及び切り紙はり絵、計6コマ、ボランティア延べ12人）	託児ボランティア団体の人数減少により、託児を依頼できる条件が厳しくなった。事前の協議・調整を十分にしたい。	
エ 世代間交流を促進する講座の開催など、地域コミュニティの醸成を図るための取り組みを行います。	幅広い年齢層が交流できるような講座等を実施しているか。	青少年講座「親子で体験」は祖父母も可としている。成人講座は年配者の参加が多いが、託児付き講座を設けることで、若年層の参加を促している。	託児を利用し、若い世代が受講してくれた。講座の開催曜日・時間を考慮し、若年層が受講しやすい講座を検討したい。	
	地域コミュニティの活性化につながるような事業を実施しているか。	2階のロビーにイス・テーブルを配置し、おしゃべりや打ち合わせなどができるスペースを確保している。団体等の活動後のコミュニティの場となっている。	ロビー及びギャラリーを広く開放し、地域の人々が集い、憩える場として充実させていきたい。	

2. 生涯学習活動の場の提供 (中項目)

南河内公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 生涯学習に関する活動の中心の場とします。	地域住民に、公民館の目的を周知しているか。	公民館振興計画、公民館運営審議会議事録 また、公民館だよりを市ホームページに公開した。	今後も多くの機関への配布等、多くの市民等に周知していきたい。	
	住民の身近な学習・交流の場としての提供や学習相談などを実施しているか。	2階のロビーに学習スペースを設け、学習やおしゃべりなどができるスペースを設けた。	少しずつ利用者が増えてきている。より気軽に使用できる施設として周知していきたい。	
イ 全ての人に開かれた学習機会・場を提供します。	子どもから高齢者までが参加できる学習の機会、場を提供しているか。	全世代を対象とした講座はないが、2階のロビーに学習スペースを設けたところ、小・中学生や高校生だけでなく、大人も利用している。	時間帯により、いろいろな年代の人がやってくるようになった。より気軽に使用できる施設として周知していきたい。	
	講座等の募集は、広く市民に周知しているか。	3月中旬発行の「生涯学習情報誌エール」、市ホームページ等で周知している。	エールは各戸に配布されているが、自治会加入者のみである。より広く周知していきたい。	
ウ 活動に必要な備品の整備に努めます。	利用者の活動ニーズに即した備品を整備し、台帳を作成しているか。	備品台帳を整備して管理している。館内の活動に対し、利用者に備品を貸出している。	今後は、社会環境の変化を見据え、新たなニーズに対応していきたい。	
エ いつでも気軽に活動でき、人が集まる公民館をめざします。	利用促進のため、講座内容の検討やロビー等の活用を努めているか。	講座内容は、応募状況や実績、講座終了時のアンケートなどを踏まえ、魅力ある講座を企画検討するようにしている。 また、2階のロビーにイス・テーブルを配置し、おしゃべりや打ち合わせなどができるスペースを確保している。	ロビーは、団体等の活動後のコミュニティの場となっており、より気軽に使用できる施設としての周知をしていきたい。	

3. 学習情報の提供と学習相談体制の充実(中項目)

南河内公民館

評価項目(小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果(目標)	
ア 地域住民への学習情報提供や学習相談の窓口として対応します。	学習情報は「広報しもつけ」や市ホームページ等に掲載し、提供しているか。	市ホームページに「生涯学習情報誌エール」の内容を掲載した。	追加募集の講座や臨時開催の講座について、広報やホームページを活用していきたい。また、エールが配布されない自治会未加入者やインターネット環境弱者に対する生涯学習情報の提供方法を検討したい。	
	自主グループやサークルの紹介や活動報告を提供しているか。	自主サークル一覧として「生涯学習情報誌エール」に掲載した。また、公民館まつりで掲示した自主サークル紹介(模造紙3枚)を継続してギャラリーに掲示している。	エールが配布されない自治会未加入者やインターネット環境弱者に対する生涯学習情報の提供方法を検討したい。	
	資格取得に関することや入学案内情報など、住民にとって有益な民間情報を提供しているか。	ロビーの書類ラックに掲出している。	分野ごとに掲出場所を工夫し、より見やすいようにしていきたい。	
	学習情報提供や学習相談に対応し、またそれに関する課題を把握し、相談内容を記録しているか。	軽微な問い合わせに対し、現状や対応方法を説明しているが、個別の詳細な相談はなく、記録等には至っていない。	記録簿の作成を検討する。	
イ 学習情報の掲示や資料提供に努めます。	利用者に学習情報やチラシ・ポスター等の資料の提供に努め、見やすく掲示され、整理整頓されているか。	ロビー及びギャラリーにおいて、掲示パネルや書類ラック等を活用し、見やすく掲示している。	定期的に資料を確認する人がいるなど市民の関心もあり、有効に活用されているようである。情報の更新に留意し、最新情報の提供に努めたい。	
	期間の過ぎた学習情報は撤去し、常に最新の情報を掲示しているか。	館内巡回時等、随時確認している。	情報の更新に留意し、最新情報の提供に努めたい。	
ウ 情報の収集、提供機能の充実を図ります。	学習に関する地域の情報発信拠点として、市内外の学習情報等を収集し、提供しているか。	市内は各課等との連携、市外は県や他市町、各種団体との連携により、学習情報を入手、掲出している。	必要に応じ、インターネット・電話問合せ等により学習情報を入手することもあり、適時対応していきたい。	
	情報の収集と提供機能を強化するため、近隣市町や関係団体と連携・協力体制を図っているか。	他市町の情報誌等を活用し、問い合わせ等を実施した。	明確な連携・協力体制ではないが、県公連や社会教育指導員間のつながりにより対応している。	

【Ⅱ】活動拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の育成・活動支援（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 公民館講座などの受講生の自主グループ化を支援します。	受講生の自主グループ化のために、助言や指導などを実施しているか。	成人講座「レッツ！健康マージャン」の修了生に助言・指導をし、自主サークル「南河内麻雀クラブ」が発足した。	会員の高齢化などにより自主サークルの活動休止や解散が増えていることから、サークル化できそうな講座には、今後も積極的に助言・指導をしていきたい。	
イ 各公民館の自主サークルが交流できる場を提供します。	各公民館の自主サークル相互の交流が図れるように、公民館がコーディネーターとしての役割を果たしているか。	各公民館自主サークルの交流を促すため、交流会の開催に向けた会議を実施した。	公民館交流会は、自主企画・運営を基本とするが、実現に向けて、助言・指導をしていく。	
ウ 自主グループや市民団体の活動を支援します。	自主グループや市民団体の活動に対して、情報や場の提供、学習相談などを実施しているか。	自主サークル等の通常活動による施設貸し出しのほか、軽微な打ち合わせなど、ロビーの積極的使用を促進した。	より気軽に使用できる施設としての周知、偏りのない支援に努めていきたい。	

2. 学習成果の発表の場の提供（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 自主グループや公民館利用者等が学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催するにあたり、各世代が参加・見学できるプログラムや運営体制づくりを支援します。	公民館まつりにおいて、自主サークルや公民館利用者等が学習成果を発表できる場を提供しているか。	館内すべてを公民館まつりのために提供した。	今後も公民館まつりの会場として、使い勝手の良い施設を維持したい。	
	公民館まつりの開催にあたり、自主グループや公民館利用者等が運営に参画し、各世代が参加・見学できるプログラムづくりや運営体制づくりの支援をしているか。	公民館まつりに参加する自主サークル・団体が実行委員会を組織し自主的に企画・運営するが、事務局として、会議及びまつりの運営を支援した。	今後も市民（サークル・団体等）の自主性を損なわないような支援を継続していきたい。	
イ 自主グループや公民館利用者等の学習成果の館内発表の場を常時設置します。また、公民館だけでなく、他施設への展示を支援します。	自主グループや公民館利用者等に、館内の発表・展示スペースを提供しているか。	ギャラリーの常設作品展示として、自主サークル等の作品を募集した。1サークル（絵手紙）が作品のパネル展示を行った。	展示形態やスペース、期間について、利用しやすくなるよう工夫していきたい。	
	自主グループや公民館利用者等に他施設への展示の支援をしているか。	市関連施設における展示の際、備品の貸出（市内のみ）や掲示物の掲出を実施する。	市施設以外への備品の貸出しについて、基準の検討をしていきたい。	

【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の協働のまちづくりへの参画支援（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 利用者との協働による公民館運営をめざします。	公民館の運営に市民や利用者の意向（意見）を反映させるための仕組みをつくり、反映されているか。	意見箱の設置や講座終了時のアンケートを実施した。	可能な限り、市民の意見を反映させるよう検討していきたい。	
	公民館の主催事業等の企画、運営、実施に公民館利用者（自主サークル、ボランティア団体等）または市民が参画しているか。	講座、まつり等の企画について、参加者にアンケートを実施して意見を聞き、参考にした。公民館まつりは自主サークル等を中心に実行委員会を組織して、企画・運営に当たった。	公民館利用者からの意見に対し、積極的に検討したい。	
イ 自主企画講座の開催を支援します。	講座開催に向けた必要な助言・指導を行っているか。	自主講座開催に対し、周知・広報及び施設予約等について支援（ジュニアオーケストラの体験教室のチラシを小学校へ配布）した。	企画が決まった段階での話であると、広報掲載及び施設使用ができない場合があり、早い段階での行動が必要であることを周知していきたい。	
ウ 自発的な学習活動を援助します。	学習意欲のある利用者が個人あるいはグループでも学習できるように学習情報の提供や学習相談などを実施しているか。	いつでも学習情報の提供や学習相談などを行う構えでいる。	何を目的に、何をしたいかをよく把握し、対応していきたい。	
エ 利用団体同士が交流できるよう支援します。	団体同士をつなげるような役割を果たしているか。	公民館交流会開催に向け、サークルを交え、会議を実施した。	公民館交流会の実現に向け、的確な支援をしていきたい。	
オ 気軽に立ち寄り、情報収集・意見交換などができる自由な交流の場を提供します。	ロビー等、自由スペースの利用促進が積極的に図れているか。	2階のロビーにイス・テーブルを配置し、おしゃべりや打ち合わせなどができるスペースを確保している。団体等の活動後のコミュニティの場となっている。また、ロビーやギャラリー、玄関や1階廊下の掲示板にポスター・チラシを掲出した。	ポスターやチラシが多くの人の目に触れるように配置し、多くの情報を提供できている。より気軽に使用できる施設としての周知をしていきたい。	

2. 学校・家庭・地域の連携支援（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 市生涯学習情報センターと連携し、市内の小中学校、関係機関、各種地域団体が相互に支援しあう体制を強化充実させます。	学校・家庭・地域の相互の支援体制を強化するため、生涯学習情報センターのボランティアバンクを活用しているか。	講座の講師選考などで、ボランティアバンクの具体的な利用実績はなかったが、バンクの情報を参考にしている。	積極的な活用を検討したい。	
	学校・家庭・地域が課題や情報等を共有できる体制づくりを行っているか。	南河内地区内の学校、児童館等の施設たより等を掲示し、地元の情報を提供した。	子どもたちも関心を持ち、掲示板を見る様になった。地域の情報のよりよい発信の仕方を検討し、周知に努めていきたい。	
	公民館利用者など地域住民に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼びかける等の助言を行っているか。	学校行事等への参加の呼びかけはしたが、ボランティア参加等への呼びかけまではしなかった。	まず学校側のニーズ等に関心を持つことを留意していきたい。	
イ 各種指導者や地域コーディネーターの発掘と養成に努めます。	リーダー、コーディネーター養成事業を実施したり、発掘に努めているか。	まちづくり入門講座はリーダー養成を加味し、ボランティアやコーディネーターの役割等について学習した。	現実的に新たなリーダー等になれる人材発掘につながる事業を検討したい。	
	リーダー、コーディネーターの養成研修や講座の修了者を指導者・助言者として活用しているか。	まちづくり入門講座に全回参加した受講者はいたが、人材活用までには至らなかった。	講座修了生への働きかけについて留意していきたい。	
ウ 各種事業・イベントを通して、地域の連帯感を育む活動を支援します。	自治会・コミュニティ・ボランティア団体等に対して、活動相談・場の提供を行っているか。	地元自治会の育成会等の活動に、公民館大ホールや調理室等を提供した。	より気軽に使用できる施設としての周知に努めたい。	

【IV】地域文化創生拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館・生涯学習情報の発信（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 学習情報を周知するため、公民館だよりを発行します。	公民館だよりを定期的に発行しているか。 （4回／年）	公民館だより 4号(4月)・5号(9月)・6号(1月)・7号(3月)を発行した。	今後も多くの機関へ配布し、多くの市民等に周知していきたい。	
イ 公民館事業の紹介や活動団体のPR等をするため、市ホームページを充実します。	事業の参加申し込み、活動団体のPR等をインターネットで紹介しているか。	講座情報、施設予約等を市ホームページに掲載している。	現在の利用者はもとより新規利用者にも浸透されるよう周知していきたい。	
	ホームページを定期的に更新し、種々の情報提供を実施しているか。	ホームページに掲載している講座・施設等の公民館情報や公民館だより、イベントカレンダー(公民館まつり)を、随時更新した。	今後はもっといろいろな事業を掲載していきたい。	
ウ 学習情報等の市民への周知徹底に努め、積極的な参加促進を図ります。	学習情報等は「エール」へ網羅しているか。	公民館関連の情報は、限なく掲載している。	各戸に配布されていることが浸透してきている。しかし、自治会未加入者への対応には、インターネット等(市ホームページ)を推進していきたい。	
	参加者の少ない講座等に、追加募集などの必要な措置を講じているか。	講座受講生の追加募集として、家庭教育、青少年教育は地区の小学校から児童に通知し、まちづくり入門講座は市内公共施設にポスター・チラシを掲出した。	追加募集により受講者が増加した。いつでも最善の手を講じていきたい。	
	関係団体等と連携し、情報提供に努めているか。	チラシ、ポスター等を掲示し、各館、各課等と連携して情報収集を行った。	適時最新情報を入手し、タイムリーな情報提供に努めたい。	

2. 施設の適正な維持管理と運営 (中項目)

南河内公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 快適な学習環境を整備します。	館内のインターネットを使用できる環境を整備しているか。	無料 Wi-Fi の使用ができる環境を整備している。	青少年教育講座 (挑戦! English Time) で活用したり、ロビー使用者が活用していたりする。	
	館内は、清掃が行き届いているか。	シルバー人材センター委託による日常清掃のほか、職員によるロビー等の清掃を毎日実施している。	市民課窓口及び南河内土地改良区の事務所が館内に所在しており、休館時における公民館以外の来館者による汚れにも対応を考慮したい。	
	利用者に配慮した室内の温度・照度は保たれているか。	大規模改修により空調設備の電化、照明器具のLED化が行われ、各部屋での調整が楽になったため、各自が最適の環境に設定している。	照明器具のLED化は省エネになった。しかし、空調設備の電化により、光熱水費が増加したため、利用者に配慮しつつ、無駄を無くし、省エネを心掛けたい。	
イ 利用者の安全性・快適性に配慮した維持管理を行います。 また、長期的には公民館に求められる施設サービスに応じた規模・機能を踏まえ、他の公共施設との調整を図り、計画的な対策を実施していきます。	維持管理マニュアルを作成し、施設・設備の点検、整備を実施しているか。また、必要な各種修繕工事は実施されているか。	マニュアルや消防計画等に基づき、日常、施設の確認をしている。施設の修繕は、随時対応している。	突発的な修繕もあるが、適時対応し、利用者の不便にならないよう努めた。今後も突発的な案件に遅れないよう対応していきたい。	
	公民館改修計画は策定されているか。	策定してある。	大規模改修工事を1年前倒しし、平成29～30年度に実施した。今後、他施設との調整を図り、改修計画を見直していく。	
	受動喫煙対策はなされているか。	敷地内禁煙を実施している。	駐車場でたばこの吸い殻が散見されるため、敷地内禁煙を周知徹底していきたい。	
	高齢者や障がい者への配慮がなされているか。	ホール玄関前にスロープがあり、外スロープにより1階と2階とを連絡している。館内の各階は、段差のないフラットなフロアになっている。多目的トイレは洋式化し、軽量引き戸の扉にした。	スロープ及び階段の手摺りの維持管理に努め、不都合の起きないように心掛けていきたい。	
ウ 市民が利用しやすいシステムづくりに努めます	施設の利用方法に利用者は満足しているか。	施設の利用方法に対する苦情等はなく、現行を理解してくれているようである。	本予約の夜間業務 (シルバー人材委託) の検討をしていきたい。	
	施設予約マニュアルを作成しているか。また、必要に応じて随時見直し等を行っているか。	施設予約システムの利用の手引きに操作ガイドを整備した。	必要に応じ、随時見直しを行っていきたい。	
	インターネットからの施設予約促進を図っているか。	新規登録者のみならず、現利用者に対してもインターネット予約の使用方法を説明した。	インターネット予約が増加傾向にあり、仮予約の乱用を防ぐよう啓発していきたい。	

3. 地域の特色を活かした活動の充実 (中項目)

南河内公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 小学校・中学校と連携し、児童・生徒が交流できるよう支援します。	小中学校と連携・協力した事業を実施しているか。	直接小中学校と連携した事業はないが、各学校の学校だよりを掲示し、学校事業の広報周知に協力している。	多くの利用者が掲示板を見ており、地域の小中学校の情報発信ができています。今後は学校の独自性を損なわず、公民館としてどのような連携事業が実施できるか検討していきたい。	
イ 地域資源を活かし、故郷に愛着をもてる事業を展開します。	地域資源 (文化財や伝統文化等、人材も含む) の把握に努め、地域資源に触れることのできる事業を実施しているか。	講座における伝統行事の学習 (わらでっぼう) や公民館まつりにおける地域資源の体験 (本場結城紬) を実施した。	受講者や体験者数は決して多くなく、いかに魅力的なものであるかを伝える方法を検討していきたい。	
	地域の団体や企業、NPO等、地域の人たちが参画できるような事業を実施しているか。	公民館まつりには、多くの地域の個人・法人 (社会福祉法人エールやはくつる会) が参画した。	公民館まつりは実行委員会形式をとり、地域の人たちも企画・運営に携わった。また、公的な施設のため、企業との連携が難しいが、どのような参画が可能か検討していきたい。	
ウ 各館の地域性を活かした特色ある事業を実施していきます。	地域が持っている、良い地域性や特色が事業に反映されているか。	文化財や歴史を題材にした講座や地域の催し物の主催者等を講師とした講座を開催した。また、公民館まつりには、本場結城紬振興協議会が参加した。	地元の特産品である本場結城紬について、見学したり機織りを体験したり、また、地元に残る伝統行事わらでっぼうを制作したりと、貴重な学びができた。地域の資源が、いかに魅力的なものであるかを伝える方法を検討していきたい。	

4. 職員の資質向上（中項目）

南河内公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 職員の資質を高めるため、職員研修を計画的に行います。	国、県、協議会等が主催する、種々の外部研修会に参加し、専門性のある職員としての資質の向上を図っているか。	館長及び社会教育指導員が、県及び郡の各種研修に参加した。 今年度の全国公民館研究大会は栃木県での開催であり、下野市は平成30年度に実施した「地域元気プログラム」の活用事例を発表し、聴講者・事務局として館長・指導員が参加した。	県教育委員会が作成した「地域元気プログラム」を活用した講座を実施し、成果が上がってきている。今後も同プログラムの有効活用を検討したい。	
	内部研修等を実施し、職員の資質向上、共通理解は図られているか。	館長は1～2か月に1回、生涯学習文化課と館長会議を、また、全社会教育指導員と年2回（4月、7月）開催し、共通理解を図った。	共通理解のもと、講座等公民館事業のスムーズな運営に繋がっている。	
イ 公民館利用者が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めます。	利用者が気軽に立ち寄り、交流できるスペースを設置しているか。	ロビーに丸テーブル及びイス、学習スペース用の机・イスを配置し、学習・打ち合わせ・おしゃべりができるスペースとした。	徐々に利用者が増え、交流の場として定着しつつある。	
	地域住民からの問い合わせ（苦情）等について、職員が内容を共有し、迅速かつ適切に対応しているか。	問合せ等があった場合は、すぐに内容の確認をし、共有するよう心掛けた。 担当者不在の場合や内容が不明な場合は即答せず、相手の連絡先を伺うか、問合せ先をお知らせし、メモ書き等により内容を共有して、後日、担当者から連絡するように対応している。	社会教育指導員は月13日勤務体制のため全員がそろう日は少ないが、情報の共有を図って対応するよう努めている。今後も、事務局の情報共有に努めたい。	
	公民館の明るい雰囲気づくりに努めているか。	いつも元気に、明るく、対応するよう全員が心掛けている。	市民課の窓口と同じ事務室のため、静粛にするタイミングもあるので、声の大きさや会話の内容に留意したい。	
ウ 公民館の適正な運営及び活性化を図るため職員の確保補充に努めます。	公民館の運営方針を明確にしているか。	平成30年3月に「公民館振興計画」を策定し、それに基づき、運営を行っている。	公民館振興計画にある公民館の運営方針等を市民へ周知していきたい。	
	評価の結果を市民に対して公表しているか。	公民館評価は令和元年度が初めての試みであったため、平成30年度の評価は公表していない。	初めての評価であったが、委員各位からの評価、意見は、今後の管理・運営に大変参考になるものであった。	
	公民館職員が、公民館の目標を理解し、目標達成のために必要な人員の確保に努めているか。	現在勤務している職員は、「公民館振興計画」を熟知し対応している。	館長及び指導員の資質向上及び地域人材の発掘に努めたい。	

南河内公民館

内部評価	全体評価(大項目の達成度)
実績・成果(目標)	<p>【Ⅰ】学習拠点としての公民館 概ね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 大規模改修工事が完了した後の再始動した年度であり、講座の開催や施設の貸出しが当館内で再開した。公民館利用者の足が遠のいていたが、徐々に回復してきた。講座は、工事による休館のため会場を間借りして実施した平成 30 年度の 14 講座から 17 講座に数を伸ばし、多くの市民が受講した。前年度にはスペースな関係上実施できなかった託児を再開し、家庭教育講座だけではなく、成人教育（ウォーキングレッスン）で実施し、若年層の講座参加につながった。 また、ロビーの広い空間を活かして学習スペースを設け、小・中学生、高校生から成人まで、様々な年代の市民に活用してもらった。4 台の机とイス、卓上スタンドだけの質素な学習スペースあるが、居場所として認識してもらえ、少しずつ利用者が増えてきたことは、今後の公民館のあり方の一例となった。</p>
	<p>【Ⅱ】活動拠点としての公民館 概ね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 登録自主サークルは会員が増えず、高齢化が進み、サークルとしての活動・維持が難しくなっている。平成 30 年度には 28 団体の登録があったが、31 年度（令和元年度）当初には 25 団体に減少してしまった。講座の修了生に働きかけ、サークルの立ち上げを促した結果、今年度は 1 件の新規自主サークルが誕生した。しかし、今年度中に休止や解散となった自主サークルもあり、市民の活動の母体であるサークルの支援内容を検討する必要があると感じている。 公民館まつりは参加サークル等 29 団体が実行委員会を組織して、自ら企画・運営した。昨年度よりも参加団体数は減少しているが、市民活動・サークル活動の発表の場として重要なイベントであり、今後も継続開催し、地域をより盛り上げていけるよう支援していく。 当館のロビーは広く、丸テーブルやイスが 6 セットあり、多くの市民が憩える空間がある。フリーのスペースであり、市民団体や自主サークルなどが、簡単な打ち合わせや活動後の情報交換に利用したことが目についた。活動拠点としての根本ではないかと思う。</p>
	<p>【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館 あまり達成できなかった。</p> <p>・特出すべき点 青少年教育講座には、市民団体が講師を務める講座があり、団体が率先してプログラムを組み、自主企画講座並みに運営、活動してくれていることは、官・民の協働の形態の一つと言える。しかし、学校支援ボランティアや生涯学習ボランティアの登録者等による「協働のまちづくり」に直結するような事業はなく、今後の大きな課題であると感じる。 また、「公民館振興計画」に記載されている公民館交流会について始動し、令和 2 年度以降の開催に向け、各館自主サークル間の話し合いを開催した。今後も自主サークルを支援して交流会を推進していき、地域や市の活性化に結び付けたい。</p>

【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館 概ね達成できた。

・特出すべき点

講座における伝統行事の学習（わらでっぼう）や文化財や歴史を題材にした講座や地域の催し物の主催者等を講師とした講座を開催した。また、公民館まつりには、本場結城紬振興協議会が参加し、伝統工芸品である結城紬の学習や、緋くりや機織りの体験を実施した。未来に継承していきたい地域文化として、今後も公民館が担うべき役割を検討していきたい。

今年度の第41回全国公民館研究集会・第58回関東甲信越静公民館研究大会において、県が作成した「地域元気プログラム」を活用した研修会の様子を事例発表し、全国の公民館事業実践者に本市の生涯学習・公民館事業の取り組み・成果を発信した。同プログラムを取り入れた公民館講座も実施し、新たな成果が上がっている。公民館だよりは計画どおり4刊（4～7号）を発行した。

全体として

令和元年度は「下野市公民館振興計画」の2年目であり、評価マニュアルに基づき公民館運営を改めて見直すことになり、職員も公民館を客観的に把握する機会となった。評価結果（総評）は次年度の公民館事業に活かし、今後の地域の活性化につなげていきたい。

南河内公民館は平成29～30年度に大規模改修工事が実施され、外壁や屋根の修繕、照明のLED化や空調設備の電化、天井の張替え、トイレの洋式化などが行われ、公民館の利便性が向上した。工事に伴う休館期間があったため、公民館離れしてしまった市民も多かったが、徐々に回復してきている。高齢化などにより自主サークル等の活動が減少傾向であるが、ロビーやギャラリーの配置や活用方法を工夫し、学習スペースやサークルの作品展示など新たな魅力を創出して、市民に公民館へ足を運んでもらえるよう努めていきたい。

令和2年度は第2次「公民館振興計画」策定（令和3年3月策定・5カ年計画）を行い、令和3年度以降の公民館運営方針を決定する予定である。

南河内公民館

外部評価	大項目	大項目に関する意見(各項目ごと)
公民館 運営審議会 委員	【Ⅰ】学習拠点としての公民館	
	【Ⅱ】活動拠点としての公民館	
	【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館	
	【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館	
【全体に関する意見等】		